

Ⅲ. 社会に資する事業（寄付行為第4条3号）

【ボランティア事業部一運営委員会】

在籍数	回数	延出席数
14	10	129

運営委員会も2年目となり委員会そのもののあり方を考えながら（運営委員会を考える会）、日々の会員活動を今年度の活動目標にそって検討実行しました。「憲法第9条を固くまもり、平和運動をすすめる」について岡村晴美弁護士からは憲法を巡る実にさまざまな学びをすることが出来ました。そしてサイレントピースアクションは3回実施。身の丈にあったピースアクションを持続することは、常日頃平和への灯を消さないことでもあります。恒例の合同祈祷週、クリスマスそして「天皇制問題を考える2. 11集会」では山下英愛先生から韓国と日本における慰安婦問題を両国の家父長制の面から語って頂きました。キリスト教基盤に立つ私たちは、聖書からの学びの機会をもつことが肝要です。今年度は講演会形式で3月20日に「愛という誤解」のタイトルのもと塩谷直也先生にお話ししていただきます。（宮治陽子）



学習会講師：岡村晴美弁護士



サイレントピースアクション（12月12日）



共に祝い、楽しむクリスマス

プログラム

開催日	プログラム名	テーマ	講師	人数
6月27日(土)	臨時全体集会	・一般財団法人か公益財団法人かの選択・全体集会（2010年3月27日）の日程の承認 ・財団における会員の位置付け		39 (委任状83)
8月30日(日)	運営委員会を考える	運営委員会のあり方を考える		16
9月19日(土)	名古屋YWCA学習会	憲法9条を固くまもり、平和運動をすすめる」ために	岡村晴美弁護士	24
9月19日(土)	サイレントピースアクション	憲法9条を守ろう		10
11月7日(土)	YMCA/YWCA合同祈祷週	「今地球市民として生きるために」		29 (内YWCA13)
12月12日(土)	クリスマス	共に祝い、楽しむクリスマス		63 (内会員40)
12月12日(土)	サイレントピースアクション	パレスチナに平和を		13
1月7日(木)	サイレントピースアクション	パレスチナ・ガザを忘れないで		5
2月11日(木)	天皇制問題を考える2. 11集会	日本と韓国の「慰安婦」問題と家父長制	山下英愛（ヨンエ） (立命館大学非常勤講師)	96
3月20日(土)	名古屋YWCA<聖書のことば>講演会	「愛」という誤解	塩谷直也 (青山学院大学准教授)	46
3月27日(土)	全体集会	・2009年度活動報告推定決算 ・2010年度活動計画、予算案、平和共働について他		52

日常活動

日時	活動内容	人数
4月25日(土) 2:00～5:00	三者合同委員会－幹部委員会、運営委員会、ボランティアネットワーク委員会 本年度は3年に一度の全国総会の年、活動目標の確認、全体プログラム、バザープロジェクトの立ち上げ	22
5月12日(火) 2:00～5:30	臨時全体集会の準備、全体プログラムをどう進めるかの協議、「ひろしまを考える旅2009」の参加者募集、日本YWCAより「アジア太平洋戦争の謝罪と未来に向けての決意表明文(案)」の検討	12
5月26日(火)	新法対応三者合同委員会(運営委員会・ボランティアネットワーク委員会・幹部委員会)	16
6月9日(火) 4:30～7:50	他団体とどう協働するか検討、運営委員会を考えるチームの立ち上げ、天津YWCAとの交流を本年度どうするか	13 (陪席1)
7月14日(火) 4:30～	全体プログラムを幹部委員会と合同で協議する(クリスマス・天皇制問題を考える2.11集会)。平和問題についてどう取り組むか－憲法9条の学習会、サイレントピースアクションを再開する。天津YWCAとの交流は2010年度に名古屋にお迎えする。運営委員会について考える会を8月30日にウイル愛知で終日行う。 合同祈祷週を名古屋YMCAでおこなう。他団体協働について協議－主体性を持って進めるためにはどうするか協議	13 (陪席1)
9月8日(火) 4:30～	第4回運営委員会(以下、運営委員会記録参照)	13 (陪席1)
10月13日(火) 4:30～	第5回運営委員会	13 (陪席1)
11月10日(火)	第6回運営委員会	12 (陪席2)
12月8日(火)	第7回運営委員会	13 (陪席2)
12月22日(火) 1:30～	運営委員・ボランティアネットワーク委員合同委員会 (会員規則の経過と問題点)	15 (陪席2)
1月12日(火) 4:30～	第8回運営委員会	14 (陪席3)
2月9日(火) 4:30～	第9回運営委員会	10 (陪席1)
3月9日(火) 4:30～	第10回運営委員会	10 (陪席1)

【他団体協働】

2008年度の三者協働の解散もあって本年はプログラムが減少した嫌いがあります。他団体協働のプログラムを推進するについては、やはり私たちYWCAの問題意識がある程度なされていないと本来の意味での協働はありえないと考えます。今まで協働する団体の主なテーマは平和に関わるものが多く、私たちの平和問題に対する方向性が明確であれば協働もきちんと受け入れられると思いますが、未だ準備不足の感があります。それと会員の参加が極めて少なく、情報伝達のあり方が双方向になされないと参加者の動員はきびしいことと、魅力的な参加の仕方を考えることが重要であると思いました。(宮治陽子)

プログラム

開催日	プログラム名	テーマ	講師	人数
6月16日(火)	平和プログラム	東北アジア地域平和教育機関の設立にむけて	イ・ジェヨン	6
6月20日(土)	パレスチナ・ガザ「届かぬ声」を伝える		土井敏邦監督	39 (会員6)
7月29日(水)	女性野宿者の支援のための女性ボランティアを中心とした支援グループの育成と協働のために		NPO ささしま共生会	23 (会員8)

9月17日(土)	女性野宿者支援ネットワーク 主催学習会・ネットワーク会 議	生活保護—あたりまえの生 活を求めて—生活保護申請 に支援同行するために	林政史	10 (会員6)
10月31日(土)	パレスチナー人権の臨海から 世界が照射されると		岡真理	約70 (会員2)
12月13日(日)	沖縄・辺野古新基地建設反対 普天間基地撤去名古屋集会		安次富浩	約80 (会員2)

【関係団体との協力】NPOささしま共生会「洗い」協力

毎月第3火曜日、福信館（東区葵）にて、前夜に若宮大通り高架下で行われる炊き出しで配食（300食前後）した食器、ポット、なべなどを洗う作業をYWCAとして今年度も担当した。

「洗い」の活動は、名古屋YWCAキリスト教基盤委員会の時、他団体協働として参加、現在まで長年続いている。「洗い」という小さな行動から、大きな現実の社会に気づかされる大切な場である。
(夏目とよ子)

日常活動

日時	活動内容	回数	参加人数
毎月第3火曜日	NPOささしま共生会炊き出し 洗い	12	104

【協力】

日	集会名	主催	延参加者数	協力内容
4-3月 (計14回)	名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会	同左	250	会場提供
4/17	4.17判決記念集会	自衛隊イラク訴訟弁護団	80	会場提供
4/21, 6/5, 7/10, 8/28, 9/25, 10/30, 11/25, 1/19, 2/23, 3/5	合田さんを支える会	同左	100	会場提供
5/9	設楽ダムの中止！名古屋の会	同左	150	会場提供
5/22, 24	日本ファミニストカウンセリング学会 全国大会	NPO法人 日本FC学会	100	会場提供
12/4, 5, 6	日本ファミニストカウンセリング学会 教育訓練臨床技法コースⅡ	NPO法人 日本FC学会	75	会場提供
7/21, 9/29, 11/17, 12/1, 1/19, 2/18, 3/23	日本キリスト教団愛知西地区 社会部委員会	同左	93	会場提供
7/23, 9/24, 11/5, 1/14, 3/11	日本キリスト教団中部教区愛知西地区 性差別問題を考える小委員会	同左	32	会場提供

11/8, 12/7, 1/10	旧日本軍による性的被害女性を支える会 運営委員会	同左	50	会場提供
6/6	パレスチナ・ガザ「届かぬ声」を伝える 土井敏邦監督講演会打合せ	不戦へのネットワーク	5	会場提供
6/20	パレスチナ・ガザ「届かぬ声」を伝える 土井敏邦監督講演会	不戦へのネットワーク	80	会場提供
6/28	島本慈子さん講演会	あいち女性九条の会	150	会場提供
7/26	ブルースギャグ講演会	不戦へのネットワーク	50	会場提供
10/21, 11/16, 1/27, 2/15, 3/18	あいち平和映画祭	同左実行委員会	66	会場提供
10/31	岡真理さん講演会	第9条のなごや	70	会場提供
11/15	礼拝・講演会	名古屋キリスト教団 名古屋堀川伝道所	50	会場提供
12/5	チェルノブイリ救援・中部 運営委員会	同左	12	会場提供
12/13	辺野古安次富さん講演会	辺野古あいち	80	会場提供
2/7	ピースアクション区切り集会 「日米同盟」という問題	有事法制反対ピースアクション	70	会場提供
2/17	ピースウォークサポート会議	沖縄ピースウォーク	10	会場提供
2/28	チェルンブイリ 24周年救援企画 in 名古屋実行委員会	同左	10	会場提供
3/6	「韓国併合 100 年」東海行動立ちあげ集会	「韓国併合 100 年」東海行動 実行委員会	90	会場提供
3/13～18	朝鮮学校を高校無償化の対象から除外し ないで下さい	愛知朝鮮中高級学校	32 筆	署名
3/20	イラク戦争 7 周年 3.20 講演会	「イラク戦争 7 周年 3.20 講 演会」実行委員会	80	会場提供

【インターン受入】

日	名前	所属
9月1日～18日(10日間)	小島美穂	金城学院大学
9月1日～15日(10日間)	小池晶子	金城学院大学
9月11日～2月(32日間)	佐藤百恵	名古屋NGOセンター

【ボランティア事業部—ボランティアネットワーク委員会】

在籍数	回数	延出席数
11	12	108

7月に会員交流を目的に「Yワイ交流会・体感沖縄DAY」を開催した。沖縄YWCAの大城美代子さんの講演、大城節子さんの沖縄民謡、歌の会ラルゴの沖縄の歌、そして沖縄料理と五感をフル回転させる1日であった。講演では、基地問題の深刻さをより身近に考える機会となった。8月、「運営委員会を考える会」でボランティアネットワーク委員会の役割を見直す意見があり、それを踏まえ、より活発な会員活動への関わり方を考える「会員集会」を1月に企画した。12月、年長会員へクリスマスカードの送付。また、長年続けていた桃陵中学校総合学習の講師コーディネートは今年度で終了した。
(横井邦子)



Yワイ交流会で基地問題の深刻さをお話しされる
沖縄YWCA会長大城美代子さん



卒業を前に
小牧市立桃陵中学校 3年生

開催プログラム・活動

開催日	プログラム名	内容	講師	人数
7月18日	Yワイ交流会	体感！沖縄DAY	大城美代子	58
12月初旬	年長会員へ	クリスマスカード送付		39
1月30日	会員集会	WE YWCA	鹿野幸枝 具 ゆり	20

講師派遣

日時	主催	テーマ	講師	人数
7月1日・3日 (3回)	小牧市立桃陵中学校	世界を知ろう	赤羽一郎 (オヴァママの会)	220

【ボランティア事業部—国際相互理解】

国際交流会

100回目を迎える外国人が話す「日本語サロン」、YWCA日本語学校学生の支援活動のおしゃべり広場開催、クリスマス会参加。名古屋大学留学生支援活動の外国人登録の手伝い・バザーの手伝いなどを行った。小さな積み重ねながら多くの人の笑顔が活動の源となり継続は力を実感し楽しく活動した。活動できるメンバーが限られ活動内容の再検討を課題とする。
(蓮尾陽子)

プログラム

開催日	プログラム名	内容	講師	人数
6月6日	外国人が話す「日本語サロン」	「ヨーロッパの十字路ポーランド」	キエトリンスキ・ザレスキ・ヤンさん ステチ・パウリナさん	31
7月11日	〃	「カナダ・ケベック州で思ったこと—言葉とアイデンティティー」	ピアス・リアムさん	30
9月12日	〃	「アフリカとアジアの間に浮かぶ島—マダガスカル」	トキ・ラザフィンドラコトさん	23
11月7日	〃	「外から見た母国：インドネシア」	エルヴィタ・ウィアシーさん	21
3月6日	〃	「中央ヨーロッパの心—ハンガリー」	マトウシュ・ロランドさん	25

日常活動

日時	活動内容	回数	参加人数	グループからの参加者
毎週月曜日 (12:30～13:30)	おしゃべり広場 YWCA日本語学校学生との交流	33	学生 213	延 124
春・秋 (各1週間)	名大留学生外国人登録手伝い 外国人登録など各種手続きの手伝い	2	学生 136	延 37
春・秋 (各3日)	名大留学生バザーの手伝い 外国人留学生バザーの準備と当日手伝い	2		延 23

アジア英語の会

フィリピンの歴史を高校の教科書(英文)を通して学んで来、フィリピンの置かれた立場などを理解し、ほぼ読み終えた。今のところ、フィリピンに学びが一極集中しているくらいがあるので、他のアジアの国々の諸問題に取り組む必要がある。ELCC(国際子ども学校：在日フィリピンの子どもの学校)の支援を今後共続きたい。
(宮内貞子)

日常活動

日時	活動内容	回数	参加人数	グループからの参加者
毎週火曜日 19:00～21:00	英語でアジアの諸問題をネストール L・プノ氏の助言を得て話し合う	週1回	4～6名	4～6名

例会の回数と延べ人数

在籍	内訳			年齢		性別		助言者	回数	延人数
	会員	会友	その他	年少	成人	女性	男性			
6	2	0	4	0	6	3	3	1	45	185

【ボランティア事業部—生涯教育】

手芸グループ

YWCAの活動資金の一部を作り出したいと、今年も毎週火曜日メンバーの元気な顔が揃い、もの作りの仕事も進んだ。また作り上げた作品は、秋のバザーなどで販売する。4月から12月の間に作製した作品はおよそ70点を数え、107,000円ほどの寄付ができた。特にクリスマスのミニバザーのために用意したオーナメントは好評であった。
(酒井美智子)

プログラム

開催日	プログラム名	テーマ	講師	回数	人数
4/27~28	京都梅ノ尾高山寺など清瀧川沿い歩き	親睦		1	7
11/27	奈良薬師寺、興福寺	バザー慰労会		1	6

日常活動

日時	活動内容	回数	参加人数	グループからの参加者
毎週火曜日 10:30~3:00	刺繍、編み物、ミシン縫いなどで袋物、』エプロン、ナフキン、セーター、帽子、マフラーを作る	46	268	268

例会の回数と延べ人数

在籍	内訳			年齢		性別		助言者	回数	延人数
	会員	会友	その他	年少	成人	女性	男性			
11	10	0	1	0	11	11	0	0	32	192

つくしの会

前年度も述べましたが、会員が増えないことが悩みの種でダンスパーティーの企画を12月まで2回開催しましたが、宣伝不足のためか多数の集客ができませんでした。他にもダンスサークル活動のグループは多数あり、パーティー会費も少し割高なため、これを解決するのは難しい問題でパーティーの企画を如何にするかグループとして、今後検討する必要があります。
(松原和郎)

プログラム

開催日	プログラム名	テーマ	講師	回数	人数
7月6日	ダンスパーティー			1	14
12月14日	ダンスパーティー			1	13
2月14日	ダンスパーティー			1	13

日常活動

日時	活動内容	回数	参加人数	グループからの参加者
原則、毎週月曜日午後6時30分から午後8時30分まで。(月曜日が休館日の時は、翌火曜日)	社交ダンスの技術、マナーの向上	44	596	596

例会の回数と延べ人数

在籍	内訳			年齢		性別		助言者	回数	延人数
	会員	会友	その他	年少	成人	女性	男性			
21	13	8	0	0	21	13	8		44	596

歌の会ラルゴ

例年外に向けての交流を大きなイベントとして掲げて練習していますが、今年は5月にシルバーホーム「まきば」(日進市)でコーラスを通して交流できました。誕生会に出させていただきますでしたが、ともに音楽を通して楽しい時間がありました。また12月には星が丘デイサービスでもクリスマスの歌など披露し、1年に1度ですが、顔なじみの方々とお話などでき、また「来年も来てね」といわれ嬉しくなりました。ふれあいの場を今後も少しずつ増やしていくつもりです。(宮治陽子)

プログラム

開催日	プログラム名	テーマ	講師	回数	人数
5月29日	シルバーホーム「まきば」訪問(誕生会)	コーラスによる高		1	13
12月18日	星が丘デイサービス(クリスマス)	齢者とのつどい		1	14

日常活動

日時	活動内容	回数	参加人数	グループからの参加者
毎月第1・第3金曜日 午後1時半～3時半	発声、讃美歌、心に響く歌をコーラスで	23	334	334

例会の回数と延べ人数

在籍	内訳			年齢		性別		助言者	回数	延人数
	会員	会友	その他	年少	成人	女性	男性			
21	17	0	4	0	21	21	0		23	334

POP&ART ぐるーぷ

聖句色紙制作も工夫をこらし、会館を飾っているが、評価のほどはわからない。対象を広げた講座は企画できなかった。同胞大学いのちの村出張講座「歎異抄に学ぶ」は2年間続き、外部参加者も5～6名で安定し、YWCAを知っていただく広報的な役割も果たしている。(脇田純子)

プログラム

開催日	プログラム名	テーマ	講師	回数	人数
4月～1月 2月～3月	『歎異抄』を学ぶ いのちの村出張講座	現代に生きる処方箋を親鸞のまなざしから学ぶ	張 偉	11	103

日常活動

日時	活動内容	回数	参加人数	グループからの参加者
4/13, 4/27, 5/18, 5/25, 6/8, 6/22, 7/13, 7/27, 7/28, 9/14, 11/9, 12/14, 1/22, 2/8 2/10, 2/26, 3/2, 3/8, 3/10, 3/18, 3/26, 3/29	会館用の聖句、絵半紙など	22	87	87

例会の回数と延べ人数

在籍	内訳			年齢		性別		助言者	回数	延人数
	会員	会友	その他	年少	成人	女性	男性			
8	7	0	1	0	8	8	0		12	51

旧約聖書を読む会

プログラム

開催日	プログラム名	テーマ	講師	回数	人数
3月2日	旧約聖書を読む会 学習会	旧約聖書「列王記」について学ぶ	二宮創 (日本キリスト改革派太田教会牧師)	1	13

日常活動

日時	活動内容	回数	参加人数	グループからの参加者
毎月第1火曜日 10:30~12:00	2010年2月で「サムエル記」を読み終わり、4月から学習会で勉強したところの聖書の全文を読み終え、毎月交代のレポーターの説明を聞き、更に勉強する。	11	13	13

例会の回数と延べ人数

在籍	内訳			年齢		性別		助言者	回数	延人数
	会員	会友	その他	年少	成人	女性	男性			
13	13	0	0	0	13	13	0	0	10	98

こすもすの会

今年も春、秋の2回大先輩をお迎えする会を開催した。新たに参加された方、以前から継続して参加されている方、そしてメンバーが共に、同窓会のような和気藹々とした雰囲気の中で食事をいただいた。時代の先駆的な役割を担われた諸先輩のお話は感心することが多く、また、現在の私たちの活動に刺激や示唆を与えてくださる貴重な機会だと思っている。
(横井邦子)

プログラム

開催日	プログラム名	参加者数	コアメンバー
6月1日	春の会	11	7
11月9日	秋の会	8	6

小さい平和の権

2009年に始まった裁判員制度に関して、グループ内の読書会での議論をベースに「市民の司法参加」という根源的なテーマについて学ぶために、法律の専門家を講師にお願いしてグループ外の方々と交えたオープンな学習会を行い、今後とも市民と司法の在り方を考えて行くきっかけとしたい。
(山村千春)

プログラム

開催日	プログラム名	テーマ	講師	人数
3月18日	これでいいのか裁判員制度	市民の司法参加とは何か	愛知県弁護士会所属弁護士	9

日常活動

日時	活動内容 (グループ内読書会)	参加人数	グループからの参加者
4月16日	アメリカ人弁護士が見た裁判員制度 コリンP.A. ジョーンズ	3	3
5月21日	アメリカ人弁護士が見た裁判員制度 コリンP.A. ジョーンズ	6	6
6月18日	映画「12人の怒れる男」DVD・・・アメリカ陪審員制度の一断面を描いた作品	6	6
7月16日	新たな琉球処分としての日米グアム協定 (雑誌世界 2009年7月号 桜井国俊) 共同提言安全保障政策のオルタナティブ (雑誌世界 2009年7月号 我部政明他)	6	6
10月15日	激論! 「裁判員」問題 木村晋介他	5	5
11月19日	激論! 「裁判員」問題 木村晋介他	6	6
12月17日	それでも日本人は「戦争」を選んだ 加藤陽子	5	5
1月21日	それでも日本人は「戦争」を選んだ 加藤陽子	3	3
2月18日	それでも日本人は「戦争」を選んだ 加藤陽子	4	4

例会の回数と延べ人数

在籍	内訳			年齢		性別		助言者	回数	延人数
	会員	会友	その他	年少	成人	女性	男性			
6	5	1	0	0	6	6	0	0	7	37

【語学・教育部】

経済状況の悪化に伴い、受講者数の減少を食い止める事は難しい状況であった。しかし、午前中のクラスはあまり変わらない受講者数となっている。これは、これらのクラスの受講生の年齢層が高く、あまり経済状態の悪化の影響を受けない年代だったためであると思われる。また、テーマ別のクラスの受講生は、そのテーマに深い興味をもたれて、長年受講を継続している方が多い。これは質の高い講師陣を有する名古屋YWCAのクラスが高い評価を得ていることを意味しているだろう。しかし、夜間クラスの若い年齢層の受講生の退会が比較的多くあったことは、残念なことである。

通常クラスに加え、短期講座、単発講座の開催にも力を入れた。自国の文化の理解を深めることは異文化理解へとつながると考え、昨年度同様に日本文化に関する短期講座（「歌舞伎講座」「茶道講座」）を開催した。更に、食の安全にも着目し、添加物を使わず、安全な材料を使用した「パン講座」や「スイーツ講座」も開催した。社会の関心も高いとみられ、多くの参加者を得ることができた。来年度もこのテーマでの企画を考えていく予定である。

旅行や仕事に生かすことを目的として、プライベートレッスンを希望される方も多くあり、より細やかな対応が必要となってきた。

ホームページに昨年度新設したブログが定着し、情報の更新、新情報の発信がより頻繁にできるようになり、柔軟な講座企画が可能となった。また、毎月ホームページのアクセス解析を行っているが、社会のニーズを知る良い手がかりとなっている。今後もホームページから得られる情報を活用し、社会のニーズにあった企画を考えていきたい。

(石垣裕子)

開催日	プログラム名	テーマ	講師名	回数	人数
年間	クラス (63 クラス)	パンフレット参照	パンフレット参照		300
年間	プライベートレッスン			75	75*
年間	セミプライベートレッスン		ガイ ウォーカー	40	3
年間	短期講座	初心者のための茶道講座	菅沢 福美子	8	32
6月、10月、11月 3月	短期講座	アレクサンダー・テクニーク レッスン	小松 好美	9	63
6/5	英語セミナー	The spirit of the real Hawaii	ミッシェル モロー ネ	1	13
6/13	英語サロン	ヘンリー8世戴冠500周年を記念して	マイケル クルーズ	1	47
8/18 ～8/22	夏期講座	夏休み読書感想文教室	河合 利政	2	11
8/29	英語教育セミナー	発音ワークショップ	中郷 慶	1	10
9/29 10/6	短期講座	超初心者のための歌舞伎講座	山路 遊子	2	13
9/30 10/7	短期講座	フランス文化散策講座	小田 麻里名	2	15
10/25	単発講座	JOES ハロウween パーティ	デボン アムストロング ダイナ ジャンセン	1	15
12/4	単発講座	天然酵母パン講座	下田 優子	1	10
1/28	単発講座	マクロビスイーツ講座	日比埜 純子	1	9
3/23	単発講座	マクロビ風季節の野菜料理講座	横澤 生子	1	5
3/23～27	短期講座	実践英語講座～文法編～	石垣 裕子	5	16

* プライベートレッスン人数：延べ人数

【日本語教育セミナー】



2009年度は午前には教授法コース（31名）、夜には基礎コース（42名）を開講した。同時受講コース6名が在籍している。応募者数が前回の夜コース募集より増加したため、一次募集で締め切った。また、養成講座の420時間コースで定員がいっぱいになったため、速習実践コースは不開講とした。教授法からの受講者1名、秋基礎入学者を5名、秋からの同時受講者1名を受入れた。講座も26年目に入り、当初からの講師の交代の時期を迎えたが、2010年度までで新しい講師への交替をほぼ終える予定である。新講師を迎え新しい科目を作ったことにより、聴講が増加した。受講生に関しては、退学・休学など変則的な受講者が増えていることに伴い、生徒管理の方法を整えること、講師登録の制度を整えること、HPの刷新などが課題である。

海外へは中国に就職する人が多い。また、プライベートレッスンの希望者は昨年よりは減少したが、JICEの就労支援事業が始まったことにより、日本語教師の需要が一時的に増大し、結果的に就職率は上がった。後期になり日本語学校の求人は、中部地区の日本語学校の学生数の減少のため数が減り、採用の際、経験を問われることも多くなった。

上記の本コース以外に、教育実習コース3コースを行なった。定住外国人の失業が社会問題化したことにより、その支援のための「就労支援のための日本語の教え方講座」を開催した。また、地域のボランティア養成に関しては、日進・安城・一宮（2コース）などで内容に年少者プログラムを追加し実施した。

教育訓練給付金制度は、教授法コース、同時受講コースの受講生に適用されている。
(磯村美保子)

【開催プログラム】

開催日	プログラム名	回数	人数
1月～3月	日本語教師養成講座 無料説明会	7回	57
4月～通年	日本語教師養成講座 基礎コース（秋入学者5名）	78回（計220時間）	31
4月～通年	日本語教師養成講座 教授法コース	79回（計219時間）	42～45
4月～通年	日本語教師養成講座 同時受講（秋入学1名）	157回（計439時間）	7
4月21日	開講講演「これからの日本語教育」 講師：西尾瑠子（社団法人 国際日本語普及協会理事長）	1回	69
4月～	教育実習実践コース 講師：谷山	6回（計15時間）	6
6月20日	定住外国人就労支援のための日本語の教え方	1回	36
7月～	検定対策講座 講師：磯村・横井他	8回	平均20
8月	教育実習コース（入門）講師：久田他	5回	8
1月～2月	ゆっくり学ぶ日本語ボランティア 講師：伏屋	5回	不開講

【修了生のお話の会】

開催日	プログラム名	講師名	人数
7月2日	「中国での日本語教育について」	二村 啓子	約30
7月30日	日本語教育学世界大会参加報告会	久田 かおり (スタッフ)	約20
9月7日	日本語教育学世界大会参加報告会	久田 かおり (スタッフ)	約30

【外部講師】

開催日	プログラム名	講師名	人数
8月～	安城市日本語ボランティア養成講座 (4回)	西田・久田・伏屋	12
9月～	日進町日本語ボランティア講座 (4回)	伏屋・西田・山田	27
1月～	一宮市日本語ボランティア養成講座 (4回) 入門・年少者・わかりやすい日本語講座	伏屋・久田・山田	20
4月～通年	金城学院大学 外留 日本語クラス (前期後期30回) 日本語教育法 (後期15回)	磯村	6
		磯村	12

【就職紹介 (成立したもの)】 計51名

プライベート 12件	学校・研修生 29件 (非常勤)	(内海外) 9名	進学 1名
カナダ	名古屋YWCA 学院日本語学校 1	中国南陽師範大学 2	南山大学大学院 1
アメリカ	可児市国際交流協会 2	中国南陽理工学院 2	
中国	愛華日本語学校 (主任) 1	中国東北大学 1	
韓国	ARMS 日本語学校 (主任) 1	青年海外協力隊 (インド) 1	
ロシア	名古屋国際日本語学校 1	インドネシア EPA 渡日前研修 1	
モンゴル	名古屋SKY 日本語学校 9		
タイ	愛知国際学院 1	韓国白石文化大学 1	
イスラエル	愛知淑徳大学 1	ベトナムオープン国立大学 1	
	中京大学 1		
	JICE 就労支援日本語教室 (短期) 9		
	EPA 看護・介護日本語研修 2		

*2009年講師登録者 10名 (2004年登録制度開始以降 累計218名)

【教育訓練給付制度対象講座】

日本語教育セミナー 教授法コース (2006年10月再指定)	2009年10月 ～ 2012年9月
日本語教育セミナー 同時受講コース (2008年4月再指定)	2008年4月 ～ 2011年3月

*現在両コースともカリキュラム・時間数など変更中

教育訓練給付制度利用者数

	2006年度	2007年度	2009年度	2009年度
教授法	13 (夜コース)	0 (昼コース)	7 (夜コース)	2 (昼コース)
同時	0	2	1	2

聴講申し込み者数

	2008年度	2009年度
人数 (のべ)	9	14

【カフェ事業部／サポートチーム】

事業部在籍数	会議開催数	延出席数	チーム在籍数	会議開催数	延出席数
7	4	30	10	3	26

今年度の活動方針：食を通して会員・会友の交流の場を提供すること。
また、会館利用者や外部の方にも YWCAを知ってもらう場とする。

合同会議開催数	合同会議延出席数
3	31



手作りの味を大切に、定番メニューや季節の野菜を使ったメニューがお客様に定着した。メニュー数を増やすことは人員の面からも難しいが、季節ごとのメニューの変化やサービスによってお客様を引き付ける工夫が必要となってきている。お客様の声からはじめた福神漬けやピクルスのサービス、サポートチームの協力でシフォンケーキをケーキセットのメニューに加え、好評であった。

サポートチームによるスペシャルメニューは、今年度より年3回となり、YWCAのイベントに合わせて実施することとなった。

11月には、「すてきにティータイム～マリンバに魅せられて」と題し、“マリンバ Duo 風雅” 奥村律子さん、小玉麻依さんによるマリンバ演奏とともに、手作りの秋のお菓子5種とお茶で楽しんでいただいた。12月には、水漏れや使用年数を考慮し、台下冷蔵庫の買い替えを行った。

近年、赤字収支が少しずつ改善されてはいるものの、直接経費との収支が黒字になるまでには至っていない。名古屋YWCA全体としての財政難から、今後、収益事業として、収益が上がるための改革を行っていく必要がある。（三掘史恵、小川智子）

開催プログラム

開催日	プログラム名	テーマ	回数	人数
7/18	スペシャルメニュー	Yワイ交流会 沖縄DAY～沖縄料理～	1	43
11/13	すてきにティータイム	デザートアラカルトとマリンバ	1	59
12/12	クリスマススペシャルメニュー	クリスマス祝して	1	48

【バザープロジェクト】



賑う会場

2009年度名古屋YWCA秋のバザーは10月9日に開催いたしました。前日、伊勢湾台風以来の大型台風がやって来るという予想しなかった事態に、一時は中止かと関係者一同ヒヤッとした幕開けでしたが、当日は台風一過素晴らしい秋空に恵まれ、438名の来場者、103名のボランティア及び会員の皆様のご協力が無事盛会裏に終えることができ、125万円の収益を得ることができました。この収益の一部は、名古屋YWCA日本語学校奨学基金、パレスチナ・ガザの女性と子ども支援（日本YWCAをとおして）へ寄付いたしました。（三宅ゆかり）

6～10月の準備作業→

総務	販売	食堂
9回61名	8回85名	11回138名